

いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報紙

2008年9月

第21号



夏休み、「パパと作ろう！世界で1つだけの物」講座

— もくじ —

特集 いきいき輝く 実りある第二の人生!.....P2～P3

～いつまでも、いきいきと生きる、定年後の充実～山下一成さん、鈴木育子さんに聞きました

- 今年も盛会！男女共同参画フェスティバル2008P4
- 誕生！うみねこの会 男女共同参画社会をめざしてP4
- 第2次大船渡市男女共同参画行動計画を策定しましたP5
- ぽかぽか縁側日記P6

男女共同参画社会とは・・・

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

少子高齢化、国際化の進展など、社会経済情勢の急速な変化に対応し、調和のとれた活力のある地域社会を築いていくためには、男女共同参画社会を実現していくことが重要となっています。

編集・発行 / 岩手県大船渡市企画政策部男女共同参画室 / 〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢15
TEL0192・27・3111 内線 216 FAX0192・26・4477

特集

いきいき輝く

実りある第二の人生！

「いつまでも、いきいきと生きる、定年後の充実」



田畑があつたので退職後は農業をやろうと思っていました。主食のおいしい米づくりを中心に作物づくりをはじめました。もちろん「食の安全、安心」を考えた農業です。

「主になにを栽培していますか？」

○山下さん

山下 一成さん
タエ子さん 夫妻
日頃市町長安寺 在住

日本は食糧不足だといって外国から輸入していますが、日本の風土は自給自足ができないことはないと思います。我が家の畑には、トマト、スイカ、ナス、キウリ、大根、ジャガイモと多種の野菜があります。その他にソバ、キビ、小豆ひえ、小麦等も作っています。



「収穫したものはどのように活用していますか？」

○山下さん

自然のなかで採れた物を地域のみんなと分かち合い、絆を深めながら、思いやりのある、住みよいまちになるように。

「例えばどんなことですか？」

○山下さん

何組かの親しい仲間を招いて、種から蒔いて作ったそば粉を打って会食して楽しむこと。また、保育園に行つて、「桃太郎さんのキビだんごなんだよ」と話しながら、キビだんごのおしるこや饅頭を作つて楽しんでいます。



「これからどんなことをしたいですか？」

○山下さん

今年は、興味のある人たちと「新そば」を種から蒔き、収穫の際にはみんなが「地産地消」の喜びや大切さを実感し合い、共有し合いたいと思っています。日頃市町は山間部で、山菜や川魚が自然の中で豊かに育っており、この恵まれた環境の中で暮らしていきたいと思っています。それから、椿の里大船渡に、赤いキビ粉で作ったキビだんごがマツチするように、いろいろな工夫を凝らして挑戦していきたいです。

「奥さんのタエ子さんも同じ仕事ですか？」

○山下さん

妻はボランティアの子育て支援グループ等で毎日、それこそいきいきと活動しています。

●夫婦で、いきいきと充実した毎日をおくるようすがうかがわれ、うらやましく思いました。山下一成さん



山下さんが講師の「新そばを楽しもう！」講座 起耕と草取り

は、現在、長安寺太鼓保存会会長（寺町一座ちんどん屋会長）としても地域と深くかかわっており、忙しい毎日です。また、妻のタエ子さんは「のびのび子育てサポーター・スマイル」代表とのこと、レトロ列車でクリスマスなどさまざまな活動を展開しています。お二人とも、いきいきと輝いていました。



鈴木貞夫さん
育子さん 夫妻
猪川町長谷堂 在住

鈴木育子さんは、退職後、家業の農業に従事のかたわら、地域のボランティアに、いそしみ、家事をこなし、さらには多彩な趣味をお持ちです。家族構成は、長男夫婦とかわいい孫2人の6人家族です。

そんな忙しい日常の合間をぬつてはじめたのがパソコンです。貞夫さんも2年ほど前から勉強しており、大分うでを上げました。今では夫婦でパソコン談義が、つきません。操作が分からないときは、息子さんも巻

き込んで、趣味を拡げています。

「パソコンを始めたきっかけは？」

○鈴木さん

主人の先輩で、隣のご主人がシニアネットというパソコン教室に入会しており、「パソコン楽しいよ!」とお聞きし、主人からは「ボケ防止になる!」と言われたことです。また、「今年の年賀状を作る」などと言つて、毎週欠かさず楽しそうに通っている様子を見て、友達と一緒に入会しました。

「家事や、ボランティアなどのようすはどうですか。」

○鈴木さん

晴耕雨読の夫ともども家庭菜園が趣味で、家で食べる分の野菜は十分収穫しています。また、ボランティアというほどのものでもありませんが、若いときの生業を活かして、週一回で介護や福祉関係のお手伝いをしています。

「ご夫婦の話題の中心は何ですか？」

ですか？」

○鈴木さん

家庭菜園の話が中心です。今年のでき具合について、「白菜やキャベツは良かったね、ジャガイモは今ひとつだったね」とか。最近では、パソコンの話題もだいぶ多く、年賀状の絵柄や書体やレイアウトの話がはずみです。また、念願の四国八十八カ所霊場めぐりも話題です。



シニアネット パソコン教室

「パソコン教室のようすは？」

○鈴木さん

パソコンを始めてまだ半年です。最初はGクラスという初心者コースでしたが、

この4月から希望のBクラスで勉強しています。メンバーは21名で男女数は半々です。また、同年代の方も多く和気あいあいとした雰囲気なのでやっています。メンバーそれぞれがパソコンの機種が違い、またレベルも違うので、指導の方々にはご苦労をおかけしています。

「これからどんなことをしたいですか？」

○鈴木さん

これからの楽しみは、インターネットをマスターして、県外に嫁いでいる娘とメール交換をすることです。

●年齢を重ねると、とにかく新しいものへのチャレンジ精神が萎え、敬遠しがちですが、鈴木さんのパソコンへ向ける果敢な挑戦を新鮮に感じました。夫婦で同じ趣味をもち、2人仲良く楽しそうでした。自分の自然なスタンスで取り組む姿勢が、いきいきと輝いています。



「男が共に家事、子育て、介護、地域活動にもっと参加していくために必要なことは？」

夫婦や家族のコミュニケーションをよくとること

この回答が最も多く、大船渡市で58.9%（国の調査では57.8%）でした。以下は次のとおり

男性自身の抵抗感をなくす 大船渡市 47.0%（国 44.0%）

男性による家事等への評価を高める 同 37.9%（同 38.2%）

（平成18年実施の男女共同参画社会に関する意識調査より）



シニアネット パソコン教室

今年も盛会！

男女共同参画フェスティバル！

「いわて男女共同参画フェスティバル2008」が6月22日、盛岡市マリオスとアイーナで開催され、県内各地から大勢の人が参集、大船渡市からは32名が参加しました。

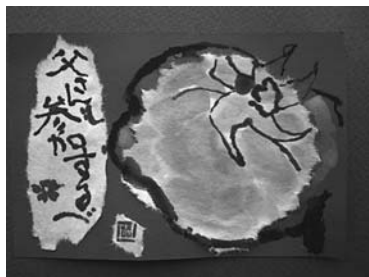


会場に展示された絵手紙

基調講演は「エコシフト」～チャーミングに世界を変える方法～と題しマエキタ・ミヤコ氏のお話でした。その中で、「100万人のキャンドルナイト」という催しが紹介され、毎年2回、夏至と冬至に、夜8時から2時間だけは灯りを消してスロウな夜を過ごすというものでした。これなら私に

もできるのではとその光景が浮かんできました。

もうひとつは「フードマイレージ」。近くでとれたものを食べれば、外国や遠方から運ぶために排出されるCO₂を減らすことができるというお話でした。毎日の生活でちよつとしたことに気を配ることが、地球全体のエコにつながるということを改めて実感しました。



会場に展示された絵手紙

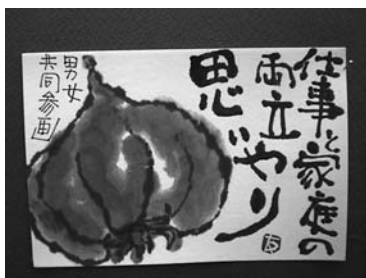
その後の分科会は涙、涙のフィルムフォーラムで、映画「そこに愛」と「五井先生と太郎」の鑑賞でした。だんだん成長していく孫とおじいさんとの関り、先生

と耳の聞こえない両親をもつ教え子との絆、孫や教え子を思い優しく諭し導くように感じました。「男女共同参画」この字面から受けるイメージとは違って、新鮮で共感しました。

基調講演や分科会に参加して、少し心が広くそして優しくなれた気持ちになりました。とても良い研修会でした。

大船渡市交通安全母の会連合会

吉田裕子



会場に展示された絵手紙

第9分科会「環境・健康にやさしいアロマの世界へ」では、私たちが日常使用している化学物質をはじめ食品や家庭用品によっても、環境を破壊しているのことでした。一人ひとりがダイオキシン問題に関心

をもち、ものを大切に使うたり、使い捨て製品の使用を控えるにすることが重要です。

フラワーエッセンスアロマは「免疫」「ホルモン」「自律神経」のバランスにすべて同時に作用するものだからです。人間の体に負担になっているものに、免疫をあげるのがアロマの、人の役にたつ香草です。人間は、脳がしっかりとっていると病気になるにくく維持力もあるそう、最近、抗生物質が効かない子どもや麻酔が効かない子どもがいるそうです、薬が効かなくなったらどうしよう！と愕然としました。日本のダイオキシンは、アメリカ・ヨーロッパに比較して濃度が高い推移にあり、はたして何年後に日本は「立ち入り禁止区域」になるだろうという説明はショックでした。心と体に及ぼす自然環境の問題を真剣に考えさせられた研修でした。

大船渡市婦人団体連絡協議会

西村千代子

お知らせ

誕生！
おふなと男女共同参画
つみねこの会

誰もがいきいきと暮らす男女共同参画社会の実現を目指し、市内関係者らにより、今年4月に発足しました。

他団体と連携、協力を図りながら、急速に進む少子高齢化の中、子育て支援や女性の職場復帰支援などを推進しよう、講演会や研修会の開催を計画しています。

現在、個人会員は20人、又エック（国立女性教育会館）研修や海外派遣研修修了者が主。ほかに団体会員が10団体で構成しています。

平和な社会になるように一緒に活動しましょう。

〓会員募集中です！〓

年会費1,000円

連絡先 TEL 279040 大泉



第2次大船渡市男女共同参画行動計画を策定しました

少子高齢・人口減少社会が進行する中で、活力ある地域社会を築いていくためには、男性も女性もすべての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現がますます重要となっています。

大船渡市では、加速する少子高齢化の進行の中でより効果的に男女共同参画を推進するため、第1次計画に続き、新たに「第2次大船渡市男女共同参画行動計画」ともにいきいきプラン21」を策定しました。

男女の人権の尊重、「男は仕事・女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識に基づく制度や慣行への配慮、政策や方針決定への男女共同参画、家庭生活と仕事や地域活動など社会活動との両立、国際理解と国際交流などの理念のもとに、さまざまな事業を体系的に展開して男女共同参画を推進していきます。



「お父さんとスペシャルランチを作ろう」講座



「パパとつくろう世界に1つだけの物」講座



つどいの広場 わいわいステーション

ともにいきいき
プラン21

行動目標1 一人ひとりが尊重される社会をつくろう

行動目標2 ともに能力が発揮できる環境をつくろう

行動目標3 ともにいきいきと働ける職場をつくろう

行動目標4 みんなで支え合う家庭や地域をつくろう

行動目標5 自分らしく、いきいきと健康に暮らそう



男女共同参画サポーター養成講座



児童乳幼児ふれあい交流促進事業



男女共同参画関連図書展

D V 等相談

市役所本庁 1 階 保健福祉課 月～金の午前 9 時 15 分～午後 4 時

TEL 27 - 3111 内線 183

県福祉総合相談センター

TEL 019 - 629 - 9610

大船渡警察署生活安全課

TEL 26 - 0110

大船渡地方振興局保健福祉環境部福祉課

TEL 27 - 9913 内線 213

内閣府全国共通DVホットライン TEL 0120 - 956 - 080 (フリーダイヤル)

内閣府「配偶者からの暴力被害者支援情報」

<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htm>



暴力根絶のシンボルマーク

暴力は犯罪です

ぽかぽか縁側日記

このコーナーは、皆さんのページです。川柳、エッセー、おもしろ話、困った話などなど、とどしとお寄せください。

親父風景

七月のあの日、こわかったですね。グラグラときたときズボンもはかずにふすまにしがみついていたがその時ピカッ、ドーン、窓がビリビリ。ああ、これで世も終わりかと思いました。津波はないということなのでホッとして寝についたらウーウーとサイレン、すわっ津波だと飛び起きたら今度は火事だ。まあまあ一夜にしてこわいもの三連発とは、神様かなりごきげん悪かったのかなあ、でも幸い当ではあまり被害がなくてよかったです。

さんかく川柳

「伴走の 妻だけが知る 不整脈」
「父母がいてこそ 里の心地よさ」
「体力も 気力もあって 職が無い」

猪川町 西村千恵

市内川柳协会会员の川柳です。皆さんも男女の役割分担等のユーモラスな川柳をお寄せください。

として、地震、雷、火事そして親父と続くのですが、今どき親父がこわいなんてあまり聞きません。雷親父なんて天然記念物みたいなものです。でも、昔からほんとに親父がこわいものだったか、これはあやしい。江戸時代なんて封建時代の典型みただけどこのときも女房の方が実権を握って



いたって何かの本にありました。へそまげ論理でいうと親父はほんとにこわいではなくて、「こわいもの」としておきたいというたてまえ、つまり社会の要請からきた言葉かもね。

友達みたいな父親が多くなつた、これは父原病だと嘆いている人もありますがこれはたしかによろしくない。やはり父親は父親としての役割は権威をもってはたすべきだと思いますよ。権威というとやたらいばりちらしたり、干渉したりする人もいますが、これは単に横暴なだけで最低です。

さて、我が家での父親の権威はというとこれもあやしい。いつか権威完全失墜的一幕もありました。息子が小三の頃、家内に「母ちゃん、お父と離婚してもつと若い人と結婚してけろ」とまことにしんけんな顔で言ったそう。どうしてと聞いたら、「友だちの太郎君の父さんは毎日キャッチボールをしてくれるんだって。おらも」というわけ。小生ギャフン。ふだんから子どもは子どもで遊ばふもんだとの主義を押しつけてましたが、そこでんだ反撃をくらったのです。恥ずかしながら次の日から時々キャッチボールをしてやりました。ほんとに締まらない父親です。



編集後記

でも多くの父さんでいたいそんなものではないですかね。まあ、ムキになることないんじゃないですか。大事なのは、まず家庭の平和、これが第一ではないですかね。（凡々生）

今夏の北京オリンピックでは、ソフトボール選手団など日本の女性たちの活躍が連日取り上げられ、男女共同参画社会実現への明るい希望が湧きました。

今回は、第二の人生を、趣味をとおり、また地域とかかわりをとおりして生きがいを感じながら豊かな毎日を送るお二人をインタビューしました。

その中で、ともに仕事をもちながら子ども達を育て家庭を維持するためには、お互いの協力と理解と努力なくてはできないこととあらためて思いました。（簡）

「いきいき通信」について、あなたのご意見、ご感想をお寄せください。